

いすみ市食育 推進計画

里山・里海の豊かな恵みを食卓に
自然と共生する農業・漁業と市民の生命（いのち）・生活（くらし）が循環し、
ともに支え、ともに高め合う姿をいすみの文化として継承します



はじめに

食は命を支えるもの、生物全てにあてはまることです。古くから医食同源という言葉があるとおり、人の命と健康は食から得られています。生涯にわたって、心身ともに健康で豊かな生活を送るためには、健全な食生活が欠かせません。とりわけ、次代を担う子どもたちが、心身ともに健やかで心豊かに成長し、生きる力を身に付けていくためには、なによりも食が重要です。

今日、社会が複雑になり、家族の在り様も大きく変わりました。日々忙しい生活を送る中で、毎日の食の大切さを忘れがちになり、食生活においては、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向、孤食などの問題が生じています。

さらに食をめぐるのは、食品偽装をはじめ、輸入農産物や遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品などの安全性の問題、食料自給率の低下と農漁業者の減少および耕作放棄地の拡大、極端な気候と世界的な食料需給の逼迫、日本型食生活や食文化継承の危機、食品・食料資源のロスなど多くの問題に見舞われています。

こうした状況を踏まえ、市は、市民一人ひとりが食についての意識を高める「食育」が重要であると考え、関係各位のご協力のもとに「いすみ市食育推進計画」を策定しました。いすみ市は、豊かな自然に恵まれ、海では、全国有数の漁獲高を誇る伊勢えびをはじめ、真蛸、サザエ、アワビ、ヒラメ、タイなどが獲れ、肥沃な大地では、美味しいお米づくりや梨、ブルーベリーなどの農業も盛んです。市内にはこれら豊かな農水産物を販売する直売所が数多くあります。地産地消や自然と共生する農業、漁業を推進し、地域と学校、家庭から地域に新しい経済の循環をつくり、市民みんなの幸せに重点を置いた「食育」に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきましたいすみ市食育推進計画策定検討委員会委員の皆様をはじめ、計画策定にご協力いただきました多くの皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

令和4年3月
いすみ市長 太田 洋





目次

はじめに	3
第1章 計画のあらまし	6
1. 計画の背景	6
2. 計画の位置づけ	7
3. 計画の期間	7
COLUMN 「スローフードな食卓から始まる」	8
第2章 食を取り巻く現状と課題	9
1. 子どもの食生活	10
2. 大人の食生活	17
3. 地産地消	21
4. 食育への意識	22
第3章 いすみ市のこれまでの取組	32
1. いすみ市の食材	32
2. いすみ市の郷土料理	33
3. 食育の特徴的な活動	34
COLUMN 「食べたものが、私になる」	35

第4章 計画の基本的な考え方	37
1. 基本理念	37
2. 基本目標	37
3. 施策の幹	37
4. 数値目標	39
COLUMN 「身土不二」という言葉をご存知ですか？	40
第5章 施策の展開	41
1. 持続可能な農林水産業と地域の食文化に根ざした食育	41
① 環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進	41
② 地産地消・旬産旬消の推進	44
③ 作る人と食べる人の交流促進	46
④ 地域の食文化の普及と継承	48
2. 次代を担う子どもたちへの食育	52
① 給食の充実	52
② 家庭における食育の推進	54
③ 保育所・学校における食育の推進	56
④ 地域における食育の推進	58
3. 生涯にわたる食育	62
① 健全な食習慣の維持、改善	62
② 診査や相談、支援の充実	63
第6章 計画の推進	66
1. 推進体制	66
2. 計画の検証と評価	66
資料編	67